

【台風21号では、大阪湾の港湾で大きな被害があった】

当部では、被災直後より研究官を派遣して被災調査を行った。

- 神戸港、大阪港等の堤外地で浸水が発生。
- 調査地区の被害の多くは、高潮と強風によるものが顕著。
- 強風・高潮により陸上のコンテナ及び海上の台船等も漂流



→ 船舶航行の障害、構造物への損害、港湾施設の利用の障害の原因。

【主な被害状況（神戸港）】

- ・コンテナの浮き等による散乱
- ・自動車の漂流等。

【主な被害状況（大阪港）】

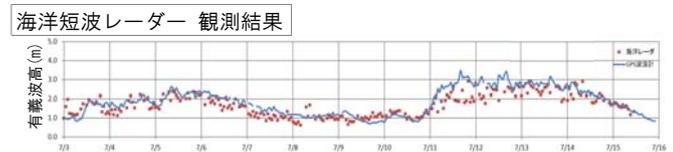
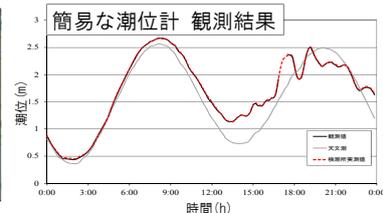
- ・強風により空コンテナの倒壊
- ・トランスファークレーンの逸走・倒壊



【高潮災害に対する港湾地帯の安全性の確保のための研究を行っています】

① 潮位・波浪観測の高度化

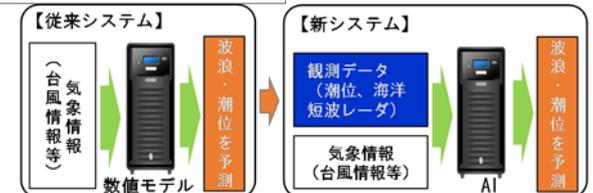
湾域の潮位・波浪を面的に把握する効率的な手法を開発することを目的として、簡易な潮位計や海洋短波レーダーを活用した、面的な観測手法の構築を行っています。



② 高潮予測の高度化

高潮注意報発生時のデータ等を教師データに、波浪や潮位を予測する手法を検討しています。

高潮予測の高度化 イメージ



③ 防潮施設に作用する外力の評価

吹送流や風波の基本的な性質及び防潮施設に作用する外力を把握するため、様々な実験を行っています。

